

- 1 会議名 全員協議会
- 2 日時 平成30年12月18日(火)
午前10時～午前11時09分
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席議員 全議員
- 5 出席者 副市長 小川信彦

総務部長 山田日出雄、市民部長 中村定秋、健康福祉部長 山北由美子、建設部長 片岡和浩、消防長 柴田義晴、教育こども未来部長 長谷川忍
秘書企画課長 伊藤新治、同秘書人事グループ長 加藤淳、行政課長 佐野剛、同行政グループ主幹 佐藤信次、同財政グループ統括主査 酒井寿、環境保全課長 丹羽至、同廃棄物グループ主幹 佐野隆、商工農政課長 神山秀行、同農政グループ統括主査 高田久嗣、上下水道課長 松永久夫、同下水道グループ統括主査 大徳康司、都市整備課長 西村忠寿、維持管理課長 高橋太、同維持グループ統括主査 吉田ゆたか、学校教育課長 石川文子、子育て支援課子育て支援グループ統括主査 佐久間喜代彦

- 6 事務局出席者 議会事務局長 隅田昌輝、同主事 高山智史
- 7 議長あいさつ
- 8 副市長あいさつ
- 9 報告事項

(1) 執行機関からの報告

① 12月定例会に追加提出予定の議案について

各部長：資料に基づき説明

【確認】

堀議員：青少年宿泊施設、希望の家の第1回募集から第2回募集にかけて、条件を変えたことについて、再度説明をお願いします。

教育こども未来部長：休業日を1日増やすということ。現在の水曜日のみから、水・木曜日にする。また、予約がない場合の夜間の在駐をしなくてもよいことを明確にした。

梅村議員：補正予算のエアコンの設置について、各小学校でみた場合はどのくらいの予算になるか。

教育こども未来部長：小学校については、岩倉北小学校が、93,248,000円ほど、南小学校が83,690,000円ほど、東小学校が55,960,000円、五条川小学校が55,740,000円、曾野小学校が80,450,000円、岩倉中学校が129,980,000円、南部中学校が88,950,000円。

② 農業振興地域整備計画の見直しについて

商工農政課長：資料に基づき説明

【質疑】

榊谷議員：アンケートが 840 世帯のうち、何世帯と言ったか。

商工農政課長：478 世帯。

鈴木議員：新旧対照表 13 ページ、ライスセンターで計画図が別添と書いてあるが、別添はあるか。

商工農政課長：今回は付けていない。

同農政グループ統括主査：大きな図面にライスセンターの位置が書かれている図のような内容。

鈴木議員：規模等はまだ決まっていないか。

同農政グループ統括主査：具体的な計画図はあるが、一般に公開していない。

大野議員：新旧対照表 1 ページの下の表で農用地が現在 225 ヘクタール、上の説明には無いが、変更案では 250 ヘクタールで 25 ヘクタール増えている。増えることはないが、どうしてか。

同農政グループ統括主査：GIS という地図システムを使って図り直しをしたところ、面積にずれがあったので、それによる修正をしている。

大野議員：変更前は農地面積が 225 ヘクタールと書いてある、新しいほうは 250 ヘクタールと書いてある。わかってないけど前から GIS でやっている。なぜどこにもリンクしていない数字がくるのか。

黒川議長：総務・産業建設常任委員会協議会で取り扱うこと。

③その他

（選挙について報告）

行政課長：岩倉市議会議員一般選挙候補予定者説明会の日程について報告。

説明会は平成 31 年 2 月 24 日（日）午前 10 時から第 2・第 3 委員会室で行う。おおむね 2 時間。立候補手続き、選挙運動等についての説明を予定。説明会への参加については、事前申し込みは必要ないが、参加人数は 1 候補者につき 3 名までとする。この件について、広報いわくら 1 月号及び 2 月号に掲載する。投票日は、特例法案が 12 月 14 日に公布されたため、4 月第 3 日曜の 21 日。告示は 14 日。

【質疑】

特になし

（天保橋開通について）

都市整備課長：北名古屋市が事業主体となり川井町地内において五条川で工

事を行っている天保橋について、北名古屋市と協議の結果、開通日は平成31年2月4日（月）午前中。2月1日号広報、ホームページ、ほっと情報メールで周知する。開通日のセレモニー、細かい時間は、決まりしだいホームページ等で周知する。

【質疑】

特になし

(2) その他

木村議員：執行機関に聞きたいことがある。10月に岩倉団地でNPO法人ハンドインハンドの保育スタッフ募集の案内が配布された。中身について疑問があるので執行機関の考えを聞きたい。一つ目に子育て経験は立派な資格ということで、保育士の資格がなくても子育て経験が6年以上あればよいとしていること、2つ目に時給が850～900円で最低賃金を下回るのではないかと思うが、どのように認識しているか、このNPO法人とやりとりがあったのかどうか。

子育て支援グループ統括主査：NPO法人ハンドインハンドに問い合わせたところ、運営に協力するスタッフの募集のためのチラシであった。市としては病後児保育事業を委託しているが、今回の募集は、訪問型の病児保育と病後児保育を区分けしていなくて、携わってくれる方ということで募集したということだった。時給の表示は直し忘れで、実際の雇用は時給900円で行っていることを確認している。子育て経験が一定程度あれば保育士の資格がなくてもということについて、ハンドインハンドの運営体制は、看護師・保育士の有資格者が5人程度いる、それ以外に、資格のない子育て経験のある方が10～15人程度いる状況で、なかなか資格を持った方は集まらないので、子育て経験者も広く募集したい意図があった。ただし、雇用する際は、県が指定する子育て支援員の研修を必ず受講してもらう対策をしていると聞いている。募集のチラシを出す前の相談はなかった。

木村議員：市が委託しているということで、子育て支援員の研修を受けるとは言われているが、保育スタッフのこの募集要項はそれで可としているのか。どのように考えているのか。

子育て支援グループ統括主査：厚労省が定める要綱の中でも有資格者が必要な配置の人数が定められている。利用児童が10人いる時は看護師が1人以上、利用児童が3人につき保育士を1人以上配置することになっている。ただし、近接する施設から直ちに駆け付けられる体制がとれていれば、常駐することは要件としないとされていることから、駆け付けられる体制を

とっているとか、協力する医療機関と連携がとれていることは確認している。その部分が守られていれば、それ以外の部分で必要なスタッフを募集するのはNPO法人の判断によるところだと思っている。

木村議員：訪問型の病児保育の配置についての厚労省の基準はあるのか。

子育て支援グループ統括主査：今、資料が無いので分からない。

黒川議長：後日、報告をお願いします。

10 協議事項

特になし。

11 その他

(議会報告会について)

大野議員：3月定例会前の議会報告会について、予算審議を市民と一緒に考える議会報告会を、今年度2月23日(土)しかないが、テーマを5つくらいに絞って、今年度も開催したいがいかがか。

(暫時休憩)

黒川議長：この件については、1月8日の議会基本条例推進協議会で協議することに異議はないか。

(異議なし)

(11:09 閉会)